

使用済み制服のリサイクル等の実施 ～南海電鉄は環境負荷の低減及び循環型社会の実現に取り組んでいます～

南海電気鉄道株式会社(社長:岡嶋 信行、以下「南海電鉄」)では、循環型社会の実現に向けた取り組みの一環として、2025年4月の制服リニューアルに伴い、運輸部門で使用されていた制服(旧泉北高速鉄道を含む)を対象に、リサイクルおよびアップサイクル等を実施いたしました。

本取り組みは、資源の有効活用や廃棄物の削減を通じて、環境負荷の低減に寄与するものと考えております。

南海電鉄は今後も、環境への配慮を重視し、自然環境にやさしい社会の実現に向けて取り組んでまいります。

1. 「古着 de ワクチン」への寄贈

使用済みとなった制服約3,000着を「古着 de ワクチン」に寄贈しました。この制服は、カンボジアを中心に世界中で再利用されます。また、ラオス政府保健省を通じて、開発途上国の子どもたち150人分のポリオワクチンの寄付につながります。



各職場から使用済みの制服を回収



スラックスを中心に袋詰



専用回収キットを発送



カンボジアの直営センターで販売

「古着 de ワクチン」

日本リユースシステム株式会社が提供するサービスで、利用者が不要になった衣類等を送付することにより、衣類等の再利用及びポリオワクチンの寄付につなげるものです。

この取り組みにより、2025年8月末現在で累計65,254,000着分の衣類が再利用されるとともに、9,224,029人分のポリオワクチンの寄付につながっています。

また、同サービスは2019年に「第3回ジャパン SDGs アワード」の特別賞を受賞しています。

2. 自動車内装材へのリサイクル

株式会社チクマと連携し、使用済みとなった制服約5,000着を自動車内装材としてリサイクルを行いました。

このような再資源化を行うことで、廃棄物の削減に加え、廃棄段階でのCO2排出も抑制できるため環境負荷の低減とともにSDGsの達成にも寄与することができます。



3. 制服アップサイクルグッズの製作

株式会社チクマと連携し、使用済みとなった制服をアップサイクルしたグッズを製作しました。制服をアップサイクルしたグッズの製作は、当社では初の取り組みで、廃棄物の削減をはじめとした環境負荷の低減を目的として実施するものです。

製作にあたり、グッズの材料として使用できない部分は自動車内装材にリサイクルしております。なお、今回製作したグッズは、今後のイベント等での限定販売を予定しております。

今回の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、12、13、15番に貢献するものと考えています。



以上